

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品先物）	
信託期間	2007年12月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を実質的な主要投資対象とし、当該インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉えることを目標に運用を行います。投資するユーロ円建て債券の価格は、為替相場の影響を受けますので、為替変動リスクがあります。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Agriculture Index」を「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」といいます。	
主要投資対象	当ファンド	「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	年4回、1月、4月、7月、10月の各月の15日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

コモディティ・ セレクション（食糧）

第28期（決算日 2015年 1月15日）

第29期（決算日 2015年 4月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「コモディティ・セレクション（食糧）」は、2015年4月15日に第29期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第28期～第29期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物)インデックス		為替レート(ドル/円)		債券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	期中	騰落率		
	円	円	%	ポイント	%	円	%	%	百万円
20期(2013年 1月15日)	6,591	30	5.9	81.522	△ 6.3	89.59	14.3	97.5	1,207
21期(2013年 4月15日)	6,813	30	3.8	77.214	△ 5.3	98.64	10.1	95.3	1,191
22期(2013年 7月16日)	6,641	30	△ 2.1	74.575	△ 3.4	100.02	1.4	96.6	972
23期(2013年10月15日)	6,394	30	△ 3.3	73.180	△ 1.9	98.58	△ 1.4	97.5	874
24期(2014年 1月15日)	6,281	30	△ 1.3	69.101	△ 5.6	104.16	5.7	95.9	793
25期(2014年 4月15日)	7,130	30	14.0	81.364	17.7	101.88	△ 2.2	94.8	844
26期(2014年 7月15日)	5,947	30	△16.2	67.833	△16.6	101.65	△ 0.2	94.8	690
27期(2014年10月15日)	5,878	30	△ 0.7	63.923	△ 5.8	107.29	5.5	93.8	738
28期(2015年 1月15日)	6,095	30	4.2	61.845	△ 3.3	117.71	9.7	96.1	744
29期(2015年 4月15日)	5,738	30	△ 5.4	57.445	△ 7.1	119.62	1.6	96.7	701

(注)基準価額および分配金(税込み)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注)「ブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックス」は、当該日前営業日の現地終値です。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注)「為替レート(ドル/円)」は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

(注)債券組入比率はマザーファンドへの投資を通じた実質比率です。

○当作成期間中の基準価額と市況等の推移

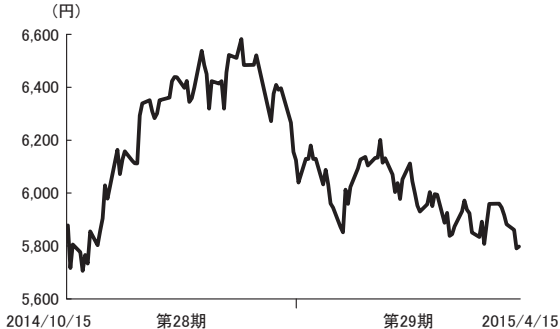
決算期	年月日	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物)インデックス		為替レート(ドル/円)		債券組入 比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	騰落率			
		円	%	ポイント	%	円	%	%
第28期	(期首)							
	2014年10月15日	5,878	—	63.923	—	107.29	—	93.8
	10月末	5,979	1.7	64.537	1.0	109.34	1.9	94.0
	11月末	6,438	9.5	65.146	1.9	118.23	10.2	94.9
	12月末	6,521	10.9	64.396	0.7	120.55	12.4	96.0
	(期末)							
	2015年 1月15日	6,125	4.2	61.845	△3.3	117.71	9.7	96.1
第29期	(期首)							
	2015年 1月15日	6,095	—	61.845	—	117.71	—	96.1
	1月末	5,915	△ 3.0	59.470	△3.8	118.25	0.5	95.8
	2月末	6,022	△ 1.2	60.117	△2.8	119.27	1.3	95.3
	3月末	5,862	△ 3.8	58.136	△6.0	120.17	2.1	96.4
	(期末)							
	2015年 4月15日	5,768	△ 5.4	57.445	△7.1	119.62	1.6	96.7

(注)期末基準価額は1万口当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は、前作成期間末の5,878円から当作成期間末には5,738円となりました。なお、当作成期間中に合計で60円（税込み）の収益分配を行いましたので、分配金を含めた値下がり額は80円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たり、第28期、第29期の分配金（税込み）を加算しております。

◎基準価額の変動要因

主要投資対象である「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・組入れていたユーロ円債の値下がり、主なマイナス要因となりました。

◎投資環境（市況）

アグリカルチャー（農作物）市場は、中国向けを中心とした米国産穀物の好調な輸出が上昇要因になる一方、ドル高の進行を背景に米国産農作物に対する需要が減退するとの観測が上値を抑える要因となり、もみ合う動きとなりました。2015年に入ると、ブラジルの通貨レアルがドルなどに対して大きく下落したことを受けて、ブラジル産農作物の輸出が拡大するとの見方が強まり、同国の輸出シェアが高い砂糖、コーヒー、大豆などを中心に下落する展開となりました。その後は、ドル高やレアル安の進行に一服感がみられたことなどを受けて、アグリカルチャー（農作物）市場は下げ渋る動きとなりました。

◎ポートフォリオについて

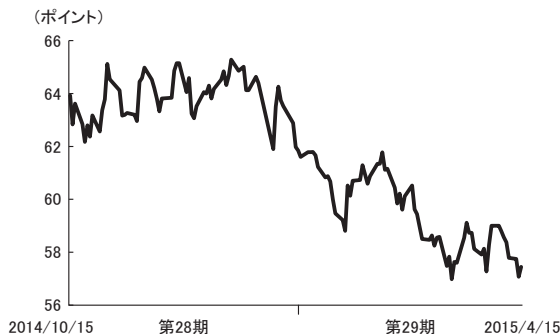
主要投資対象である「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。当作成期間末における受益証券の組入比率は、99.2%となっております。

「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」につきましては、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。当作成期間末におけるユーロ円建て債券の組入比率は、97.5%となっております。

◎参考指数との比較

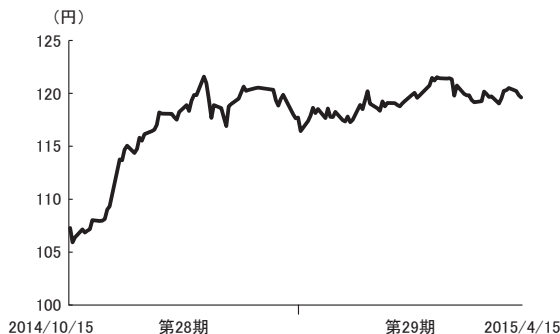
当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金を考慮した基準価額の騰落率は参考指数としているブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの騰落率を上回りました。円安ドル高の進行が、参考指数の騰落率を上回る主な要因となりました。

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの推移



(注) ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。

為替レート（ドル／円）の推移



(注) 為替レート（ドル／円）は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

◎分配金

当作成期間中は、第28期決算および第29期決算において、それぞれ1万口当たり30円（税込み）、合計60円（税込み）の収益分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第28期	第29期
	2014年10月16日～ 2015年 1月15日	2015年 1月16日～ 2015年 4月15日
当期分配金	30	30
(対基準価額比率)	0.490%	0.520%
当期の収益	30	28
当期の収益以外	—	1
翌期繰越分配対象額	188	189

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

主要投資対象である「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に保つ方針です。

「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」につきましては、追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、同インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年10月16日～2015年4月15日)

項 目	第28期～第29期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	41	0.673	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.328)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.319)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.037	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.710	

作成期間中の平均基準価額は、6,122円です。

(注) 作成期間中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年10月16日～2015年4月15日)

○ 売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第28期～第29期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	20,254	15,000	52,314	40,000

千口 千円 千口 千円

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○**利害関係人との取引状況等**

(2014年10月16日～2015年4月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○**組入資産の明細**

(2015年4月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	第27期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	1,011,296 千口	979,236 千口	695,943 千円

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年4月15日現在)

項 目	第29期末	
	評価額	比 率
	千円	%
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	695,943	98.3
コール・ローン等、その他	12,080	1.7
投資信託財産総額	708,023	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第28期末	第29期末
	2015年1月15日現在	2015年4月15日現在
	円	円
(A) 資産	752,591,135	708,023,804
コール・ローン等	18,910,747	12,080,450
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド(評価額)	733,680,383	695,943,351
未収利息	5	3
(B) 負債	8,052,123	6,315,965
未払収益分配金	3,664,517	3,668,463
未払解約金	1,696,367	189,031
未払信託報酬	2,665,678	2,435,127
その他未払費用	25,561	23,344
(C) 純資産総額(A - B)	744,539,012	701,707,839
元本	1,221,505,986	1,222,821,146
次期繰越損益金	△ 476,966,974	△ 521,113,307
(D) 受益権総口数	1,221,505,986口	1,222,821,146口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,095円	5,738円

(注)運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注)計算期間末における1口当たり純資産額は、第28期0.6095円、第29期0.5738円です。

(注)純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第28期476,966,974円、第29期521,113,307円です。

(注)当ファンドの第28期首元本額は1,257,208,042円、第28～29期中追加設定元本額は135,553,844円、第28～29期中一部解約元本額は169,940,740円です。

○損益の状況

項 目	第28期	第29期
	2014年10月16日～ 2015年 1月15日	2015年 1月16日～ 2015年 4月15日
	円	円
(A) 配当等収益	621	411
受取利息	621	411
(B) 有価証券売買損益	31,150,577	△ 36,813,495
売買益	35,372,816	861,460
売買損	△ 4,222,239	△ 37,674,955
(C) 信託報酬等	△ 2,691,239	△ 2,458,471
(D) 当期損益金 (A + B + C)	28,459,959	△ 39,271,555
(E) 前期繰越損益金	△147,248,838	△114,998,618
(F) 追加信託差損益金	△354,513,578	△363,174,671
(配当等相当額)	(12,609,368)	(13,334,479)
(売買損益相当額)	(△367,122,946)	(△376,509,150)
(G) 計 (D + E + F)	△473,302,457	△517,444,844
(H) 収益分配金	△ 3,664,517	△ 3,668,463
次期繰越損益金 (G + H)	△476,966,974	△521,113,307
追加信託差損益金	△354,513,578	△363,174,671
(配当等相当額)	(12,682,921)	(13,430,406)
(売買損益相当額)	(△367,196,499)	(△376,605,077)
分配準備積立金	10,402,696	9,777,207
繰越損益金	△132,856,092	△167,715,843

(注) 損益の状況の中で、**(B) 有価証券売買損益**は期末の評価替えによるものを含みます。**(C) 信託報酬等**は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。**(F) 追加信託差損益金**とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第28期	第29期
(a) 配当等収益（費用控除後）	5,651,108円	3,541,494円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	12,682,921円	13,430,406円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	8,416,105円	9,904,176円
分配対象収益（a + b + c + d）	26,750,134円	26,876,076円
分配対象収益（1万口当たり）	218円	219円
分配金額	3,664,517円	3,668,463円
分配金額（1万口当たり）	30円	30円

用語解説

○**資産、負債、元本及び基準価額の状況**は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○**損益の状況**は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第28期	第29期
1万口当たり分配金(税込み)	30円	30円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。	
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店	

〈お知らせ〉

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2014年12月1日)
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ① 運用企画部の新設
 - ② 投資調査部を投資情報部に改称
 - ③ 運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④ トレーディング部を運用本部から分離

〈当ファンドの参考指数の著作権等について〉

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ（Bloomberg®）」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、岡三アセットマネジメント株式会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスおよびブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスおよびブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年4月15日現在)

<アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

下記は、アグリカルチャー・インデックスマザーファンド全体 (1,234,260千口) の内容です。

国内公社債

(A) 国内 (邦貨建) 公社債 種類別開示

区分	第29期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	870,000 (870,000)	854,904 (854,904)	97.5 (97.5)	— (—)	— (—)	— (—)	97.5 (97.5)
合計	870,000 (870,000)	854,904 (854,904)	97.5 (97.5)	— (—)	— (—)	— (—)	97.5 (97.5)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、第29期末のマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B) 国内 (邦貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	第29期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
普通社債券 (含む投資法人債券)	%	千円	千円	
UBS-AGRICULTURE 20151130	3.5	510,000	501,024	2015/11/30
SG-AGRICULTURE 20151130	3.5	360,000	353,880	2015/11/30
合計		870,000	854,904	

(注) UBS-AGRICULTURE 20151130は、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店 (UBS AG, London Branch) 発行のユーロ円建て債券です。

(注) SG-AGRICULTURE 20151130は、ルクセンブルクのエスジー・イシューア (SG Issuer) 発行のユーロ円建て債券です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

第7期 運用状況のご報告

決算日：平成26年10月15日

「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」は、平成26年10月15日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とし、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Agriculture Index」を「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」といいます。
主要投資対象	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー （農作物）インデックス		為替レート（ドル/円）		債券組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率	（参考指数） ポイント	期中 騰落率	円	期中 騰落率		
第3期 平成22年10月15日	6,862	15.6	78.913	27.5	81.57	△ 9.0	98.1	1,549
第4期 平成23年10月17日	6,654	△ 3.0	81.787	3.6	77.29	△ 5.2	97.5	2,645
第5期 平成24年10月15日	7,166	7.7	87.006	6.4	78.39	1.4	98.5	1,432
第6期 平成25年10月15日	7,562	5.5	73.180	△15.9	98.58	25.8	98.9	1,003
第7期 平成26年10月15日	7,153	△ 5.4	63.923	△12.6	107.29	8.8	95.9	1,487

(注) 1. 基準価額は1万口当たりです。

2. 「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」は、当該日前営業日の現地終値です。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

3. 「為替レート（ドル/円）」は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物)インデックス		為替レート (ドル/円)		債券組入 比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		騰落率	
(期首)	円	%	ポイント	%	円	%	%
平成25年10月15日	7,562	-	73.180	-	98.58	-	98.9
10月 末	7,353	△ 2.8	71.674	△ 2.1	98.51	△ 0.1	97.9
11月 末	7,521	△ 0.5	70.732	△ 3.3	102.42	3.9	98.8
12月 末	7,665	1.4	70.116	△ 4.2	105.39	6.9	98.4
平成26年 1月 末	7,280	△ 3.7	68.117	△ 6.9	102.86	4.3	96.9
2月 末	8,049	6.4	76.068	3.9	101.94	3.4	98.5
3月 末	8,515	12.6	80.065	9.4	102.92	4.4	97.5
4月 末	8,860	17.2	83.763	14.5	102.61	4.1	95.8
5月 末	8,231	8.8	78.118	6.7	101.66	3.1	96.5
6月 末	7,915	4.7	75.262	2.8	101.36	2.8	96.9
7月 末	7,173	△ 5.1	66.948	△ 8.5	102.85	4.3	96.5
8月 末	7,151	△ 5.4	66.165	△ 9.6	103.74	5.2	95.3
9月 末	6,869	△ 9.2	60.133	△17.8	109.45	11.0	96.8
(期末)							
平成26年10月15日	7,153	△ 5.4	63.923	△12.6	107.29	8.8	95.9

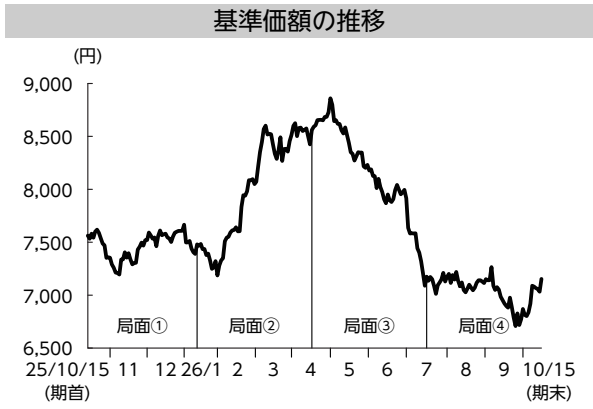
(注) 騰落率は期首比です。

第7期 (平成25年10月16日～平成26年10月15日)

基準価額の変動要因

1. 基準価額の推移

基準価額は、前期末の7,562円から当期末には7,153円となり、期中の値下がり額は409円となりました。



(注) 基準価額は1万口当たりです。

[市況要因]

局面①【期首～平成26年1月15日】

米国の豊作による需給緩和から軟調

1. 期首から平成25年12月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、最大の穀物輸出国である米国が豊作となったことを受けて、世界的に需給緩和観測が強まり、軟調に推移しました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは米国の生産高が過去最高を更新するとの見方が強まったことに加え、米国政府がエタノールの義務的使用量を緩和すると観測が下落要因となり、軟調に推移しました。大豆は、米国の豊作観測が下落要因になる一方、中国向けを中心とした好調な輸出が下値を支える要因となり、底堅い動きとなりました。

12月下旬から翌平成26年1月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国の生産高が概ね固まるなか、豊作による需給緩和観測が一段と強まり、下落基調が続きました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは中国の港湾において米国産から未承認の遺伝子組み換え品種が検出されたことなどからじり安の展開となりました。しかし、1月の需給報告において期末在庫見通しが引き下げられる

と反発しました。大豆は、ブラジルやアルゼンチンの豊作観測から下落したものの、その後は中国向けの大口輸出成約が相次いで報告されたことから反発するなど一進一退の動きとなりました。

2. この間の為替相場は、米金融当局が量的金融緩和策の段階的な縮小を決定したことなどからドルが対円で上昇し、ドル/円は期首の1ドル=98.58円から1月15日には104.16円をつけました。

※この間、基準価額は1.1%の下落となりました。

局面②【平成26年1月16日～平成26年4月15日】

米国産の好調な輸出やブラジルの干ばつによる不作観測から急反発

1. 1月下旬から3月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、ブラジルの産地が干ばつに見舞われたことを受けて、作柄悪化観測が強まり、同国の主要農作物であるコーヒーや砂糖、大豆などを中心に急伸する動きとなりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは2月上旬にかけて複数の大口輸出成約が報告されたことが好感されたほか、主要な輸出国であるウクライナの政情悪化も供給不安から上昇要因となり、堅調に推移しました。大豆は、ブラジルの産地で高温・乾燥状態が続き作柄悪化観測が強まったことに加え、輸入国が調達先を南米から米国にシフトさせる動きを活発化させたことから急伸する動きとなりました。コーヒーは、最大の生産国であるブラジルの産地の干ばつを受けて、減産による需給逼迫観測が台頭し、急騰する展開となりました。

3月下旬から4月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国で穀物などの作付けシーズンを迎え、産地の天候などを睨んでもみ合う動きとなりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは米国の四半期在庫統計や作付面積意向調査の結果が市場予想を下回ったことなどが買い材料となり、じり高の展開となりました。大豆は、南米産の不作観測が強まったことに加え、4月の需給報告において米国産の輸出需要見通しが引き上げられたことなどから一段高となりました。コーヒーは、干ばつに見舞われていたブラジルの産地で散発的な降雨が確認されたことを受

けて、作柄改善観測から3月末にかけて急落しました。しかし、その後は同地域が再び干ばつとなったことを受けて、大幅減産は避けられないとの見方から急反発するなど値動きの荒い展開となりました。

- 2.この間の為替相場は、新興国経済の先行き不透明感が強まったことや、ウクライナ情勢の緊迫化などを背景にドルが対円で下落する展開となり、4月15日には1ドル=101.88円となりました。

※この間、基準価額は14.5%の上昇となりました。

局面③【平成26年4月16日～平成26年7月15日】

米国中西部地域の好天による豊作観測から軟調

- 1.5月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国産穀物の好調な輸出や、産地の悪天候を背景とした作付け作業の遅れが上昇要因になる一方、米農務省の需給報告においてトウモロコシなどの生産高見通しが引き上げられたことが下落要因になり、一進一退の動きとなりました。個別商品の動きとしては、小麦は主産地である米カンザス州の天候不順や、ウクライナ情勢の緊迫化を背景とした黒海沿岸産の供給不安などが買い材料となり、堅調に推移しました。

5月下旬から7月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国中西部地域において農作物の生育に適した天候が続いたことを受けて、豊作観測が強まり、急落する展開となりました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは主産地である米国中西部地域において理想的な天候が続いたことを受けて、豊作による需給緩和観測が台頭し、軟調に推移しました。また、米国におけるトウモロコシの作付面積が3月時点の予想値から引き上げられたことなども、相場の下落要因となりました。

- 2.この間の為替相場は、強弱感が交錯する中、狭い範囲でもみ合う動きとなり、ドル/円は7月15日に101.65円となりました。

※この間、基準価額は16.2%の下落となりました。

局面④【平成26年7月16日～期末】

米国産の記録的な豊作観測が強まる中、一段安の動き

- 1.7月下旬から9月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国産穀物の好調な輸出などから下げ渋る場面がみられたものの、その後は米国のトウモロコシと大豆の生産高が過去最高を記録するとの見通しが強まったことから下落する展開となりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは米農務省が生産高見通しを引き上げる中、記録的な豊作になるとの観測が強まったことから下落し、およそ4年ぶりの安値を付けました。また、砂糖は国際砂糖機関（ISO）が2014/2015年度の世界砂糖需給が供給超過になるとの見通しを示したことに加え、インドの降水量不足によるサトウキビの作柄への影響が限定的との見方が強まったことから、軟調に推移しました。

9月下旬から期末にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国において穀物の収穫作業が進められる中、新穀の供給開始による需給緩和観測から下落したものの、その後は産地の天候悪化による作柄悪化懸念から上昇するなど、一進一退の動きとなりました。個別商品の動きでは、大豆は産地の好天を背景に生産高見通しが一段と引き上げられるとの観測や、ドル高の進行による米国産の輸出競争力の低下懸念から、9月中は軟調に推移しました。しかし10月に入ると、米国中西部地域で天候不順が続くとの予報を受けて、収穫作業の遅れや降霜などによる作柄悪化懸念が台頭し、反発しました。

- 2.この間の為替相場は、日米の金融政策スタンスのギャップを背景にドルが対円で上昇する展開となり、期末には1ドル=107.29円を付けました。

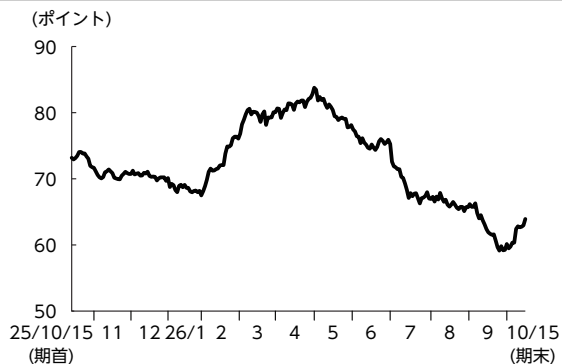
※この間、基準価額は0.3%の下落となりました。

2. 参考指数との比較

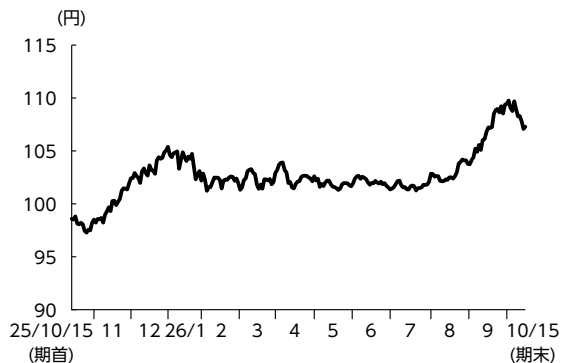
当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス*の当期中の騰落率は12.6%の下落、米ドル/円は8.8%の上昇（円安）となったのに対し、当ファンドの基準価額は5.4%の下落となりました。

※ダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスは、平成26年7月1日より、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスに名称が変更となりました。

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの推移



為替レート（ドル/円）の推移



運用経過

【組入比率】

ユーロ円建て債券の組入比率は高位を維持し、期末の組入比率は95.9%となっております。

【当期の運用状況】

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。当期は、期中にユーロ円建て債券の入替えを行いました。期末現在では、UBS AG, London Branch（ユービーエス・エージー、ロンドン支店）発行の債券とSG Issuer（エスジー・イシューア）発行の債券を保有しており、組入比率はそれぞれ50.0%と45.9%です。

今後の運用方針

【投資環境の見通し】

今後のアグリカルチャー（農作物）市場につきましては、当面は上値の重い展開が続くと考えます。最大の穀物生産国である米国の今年の収穫量が過去最高を記録するとの見方が強まる中、世界の飼料用穀物の需給は緩和すると考えられます。また、足元で原油価格が下落傾向にあり、バイオエタノールなど代替燃料の需要が鈍化すると考えられることも、相場の上値を抑える要因になると考えます。

しかし、中長期的には世界人口の増加に伴って食糧需要は増加傾向を辿るとみられることに加え、新興国の経済発展に伴う食生活の変化を背景に飼料需要の増加も見込まれることから、農作物の需給緩和は一時的に留まると考えます。また、世界の耕作可能面積には限りがあることに加え、地球温暖化などの影響により世界各地で異常気象が発生していることを考慮すると、徐々に需給は引き締まっていくと考えられ、価格は上昇基調を辿ると予想します。

【運用方針】

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

◎ 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 保管費用等	3円
合計	3円

- (注) 1. 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
 (a) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
 2. 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎ 売買状況

○ 公社債

決算期	第7期(平成25年10月16日～平成26年10月15日)	
	買付額	売付額
国内	千円	千円
普通社債券(含む投資法人債券)	1,664,994	1,077,501

- (注) 1. 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)
 2. 単位未満は切り捨てです。
 3. 普通社債券(含む投資法人債券)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎ 主要な売買銘柄

○ 公社債

第7期(平成25年10月16日～平成26年10月15日)			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
UBS-AGRICULTURE 20141128	863,248	UBS-AGRICULTURE 20131129	489,887
SG-AGRICULTURE 20141128	801,746	BARC-AGRICULTURE 20131129	476,944
		UBS-AGRICULTURE 20141128	55,707
		SG-AGRICULTURE 20141128	54,963

- (注) 1. 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)
 2. 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等

○期中の利害関係人との取引状況

決算期	第7期(平成25年10月16日～平成26年10月15日)					
	買付額等 A	うち利害関係人と の取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人と の取引状況D	$\frac{D}{C}$
区分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,664	-	-	1,077	-	-

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

○売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

該当事項はありません。

◎組入有価証券明細表

○国内(邦貨建)公社債

(A) 種類別開示

決算期	当期末(平成26年10月15日現在)						
	額面金額	評価額	組入比率	内BB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
区分	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券(含む投資法人債券)	1,460,000	1,426,148	95.9	-	-	-	95.9
合計	1,460,000	1,426,148	95.9	-	-	-	95.9

(注) 1. 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

2. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

3. BB格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

4. -印は組み入れがありません。

(B) 銘柄別開示

決算期	当期末(平成26年10月15日現在)						
	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	S & P	Moody's
		%	千円	千円			
	普通社債券(含む投資法人債券)						
	UBS-AGRICULTURE 20141128	3.500	760,000	743,508	2014/11/28	A	A2
	SG-AGRICULTURE 20141128	3.500	700,000	682,640	2014/11/28	A	A2
	合計		千円 1,460,000	千円 1,426,148			

(注) 1. UBS-AGRICULTURE 20141128は、スイスのユーピーエス・エージーのロンドン支店(UBS AG, London Branch)発行のユーロ円建て債券です。

2. SG-AGRICULTURE 20141128は、ルクセンブルクのエスジー・イシューア (SG Issuer) 発行のユーロ円建て債券です。格付けは親会社の格付けを記載しております。

3. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

◎投資信託財産の構成

当期末：平成26年10月15日現在

項目	前期末		当期末	
	評価額	比率	評価額	比率
公 社 債	991,905 千円	98.9 %	1,426,148 千円	95.9 %
コール・ローン等、その他	11,193	1.1	61,648	4.1
投資信託財産総額	1,003,098	100.0	1,487,796	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

当期末：平成26年10月15日現在

項目	前期末	当期末
	金額(円)	金額(円)
(A) 資産	1,003,098,396	1,487,796,348
コール・ローン等	10,635,123	60,808,391
公社債(評価額)	991,905,200	1,426,148,000
未収利息	558,073	839,957
(B) 純資産総額(A)	1,003,098,396	1,487,796,348
元本	1,326,581,062	2,080,024,631
次期繰越損益金	△ 323,482,666	△ 592,228,283
(C) 受益権総口数	1,326,581,062口	2,080,024,631口
1万口当たり基準価額(B/C)	7,562円	7,153円

- (注) 1. 当ファンドは監査対象ではありません。
 2. 計算期間末における1口当たり純資産額は0.7153円です。
 3. 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は592,228,283円です。
 4. 当ファンドの期首元本額は1,326,581,062円、期中追加設定元本額は1,009,019,912円、期中一部解約元本額は255,576,343円です。
 5. 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、コモディティ・セレクション(食糧)1,011,296,313円、農業・食糧関連オープン1,068,728,318円です。

◎損益の状況

当期：自 平成25年10月16日 至 平成26年10月15日

項目	前期	当期
	金額(円)	金額(円)
(A) 配当等収益	41,128,672	36,388,963
受取利息	41,128,672	36,388,963
(B) 有価証券売買損益	52,120,200	△153,251,045
売買益	56,817,400	7,298,000
売買損	△ 4,697,200	△160,549,045
(C) 信託報酬等	△ 437,308	△ 439,966
(D) 当期損益金	92,811,564	△117,302,048
(A + B + C)		
(E) 前期繰越損益金	△566,365,888	△323,482,666
(F) 追加信託差損益金	△ 10,023,893	△204,019,912
(G) 解約差損益金	160,095,551	52,576,343
(H) 計(D + E + F + G)	△323,482,666	△592,228,283
次期繰越損益金(H)	△323,482,666	△592,228,283

- (注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等の金額は保管費用等です。なお、当ファンドには信託報酬はありません。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈約款変更のお知らせ〉

ダウジョーンズUBSアグリカルチャー(農作物)サブ・インデックスからブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：平成26年7月1日)